

会話の定量的な分析による 異文化コミュニケーションを促す環境の形成



実験後の展開（時系列順）

○令和2年4月

東京学芸大学附属小金井小学校6年生の道德の授業において、グループディスカッション時に会話の分析・可視化を行いました。担任教諭より、会話の可視化を通じて、子どもたちの思考の活性化を実感できる体験となったとの評価が得られました。

○令和2年6月

東京学芸大学附属小金井中学校3年生の理科の実験の授業において、グループディスカッション時に会話の分析・可視化を行いました。担任教諭より、会話の可視化を通じて、子どもたちの活発な議論を促すとの評価が得られました。

○令和2年9月

ハイラブル株式会社が、EdTechツールの導入補助により学校等教育機関および学校等設置者と教育産業の協力による教育イノベーションの普及の後押しを目的とした、経済産業省の「EdTech導入補助金」に採択されました。同補助金の交付を受け、工学院大学附属高等学校（東京都八王子市）とともに、見える化されたエビデンスに基づく生徒の行動変容や、教員の効果的なフィードバックに関する実証事業を行います。

○令和2年11月

ハイラブル株式会社が、企業・学校・自治体などにおける、eラーニングを活用したコンテンツ・サービス・ソリューションの中からとくに優れたものを選出するアワードである、「日本e-learnig大賞」の「厚生労働大臣賞」を受賞しました。